nulab



社内稟議に役立つ

Backlog 導入推進ガイド

稟議書フォーマット付き

backlog by nulab

目次

なぜ今、タスク管理基盤の見直しが必要か？ 3

Backlogで実現できること 4

現場に起きる変化 5

プロジェクト・タスク管理ツール 「Backlog」 6

利用人数が増えてもコストが増えない料金体系 8

多くの企業様に導入いただいています 9

稟議書フォーマット（サンプル） 10

よくある質問 11

セキュリティ 12

参考リンク 12

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

なぜ今、タスク管理基盤の見直しが必要か？

メールやExcel、個人によるバラバラなタスク管理では、業務の進捗や判断経緯が分散し、組織全体の状況を即座に把握することが困難になります。現場の課題を解消し、組織の生産性と持続的な成長を支えるためには、チーム全体の業務を一元的に管理できる基盤が不可欠です。



タスク管理現場の困りごとが、経営課題に発展

意思決定の遅延



進捗や経緯の把握に時間を要する状態では、
意思決定の遅れや機会損失を招くおそれがあります。

組織パフォーマンスの阻害



個人やチームの力を十分に発揮できず、
組織全体の生産性や実行力が低下します。

管理コストの増大



関係者が増えるほど、状況確認や調整にかかる負担が
増加し、マネジメントコストが肥大化します。

持続的な成長基盤の欠如



情報の点在や属人化は業務の再現性を損ない、
組織の持続的な成長基盤の構築が困難になります。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlogで実現できること

AI活用やDXを支える業務基盤の整備

組織全体で活用できる共通基盤により、継続的な業務改善を可能にする



Backlogに業務情報を集約することで、組織全体の活動を可視化し、データに基づく業務改善が可能になります。コメントや変更履歴も残るため、過去の経緯を容易に確認でき、組織の情報資産として価値を発揮します。さらに「Backlog AIアシスタントの活用」により、業務効率の向上とDX推進を支える基盤を構築できます。

意思決定スピード向上

状況確認に時間を費やさず、迅速かつ適切な経営判断を可能にする

誰が・何を・どこまで進めているかが常に可視化されるため、会議や報告のための資料作成を最小化できます。履歴が蓄積されることで判断経緯も即時に確認可能。
意思決定に必要な情報が揃った状態を前提に議論できるため、決断までの時間を短縮します。



人材採用・定着・育成

属人化を防ぎ、個人に依存しない持続可能な組織運営を実現する



業務の進捗やナレッジが組織の資産として蓄積されることで、担当者の異動や退職に左右されない業務体制を構築できます。
誰もが状況を把握し主体的に業務を進められる環境が整い、人材の定着と組織全体のパフォーマンス向上に寄与します。

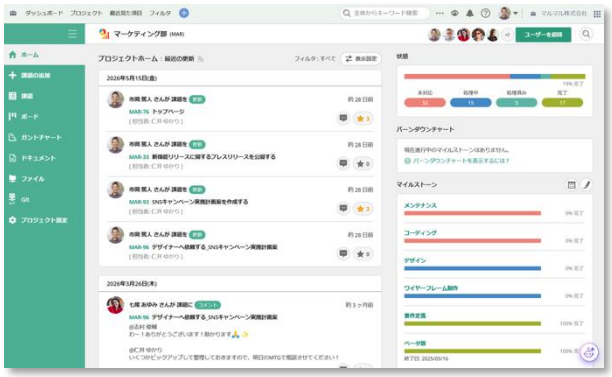
これらの効果は、日々の現場業務の変化によって実現されます。
次ページで具体的にご紹介します。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

現場に起きる変化

情報共有の効率化

- 点在していた業務情報をBacklogに集約することで、「Backlogを見ればすべてわかる」状態に
- 時間がかかりがちな「メンバーの進捗を確認する」「報告資料を作る」作業を削減できる
- メールや個別連絡による認識のズレや情報の分断を防止
- 同じコミュニケーション基盤で業務を進めることで、大規模なプロジェクトでもチームや組織間の連携が円滑に



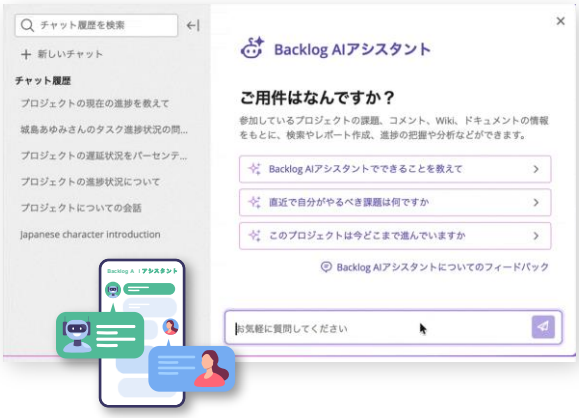
業務の透明性が向上

- タスクの経緯や変更内容が履歴として蓄積され、誰でも業務の背景や進捗を把握可能
- 担当者不在時や異動・退職時もスムーズに引き継ぎができ、属人化による業務の停滞リスクを低減
- 個人に依存しない業務体制が構築され、チーム全体で安定して業務を推進できる



生産性の向上

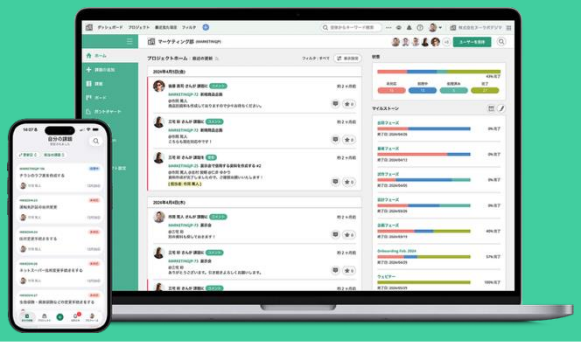
- タスク・進捗・関連資料・コメントが見える化され、情報を探す手間を大幅に削減
- 削減した時間を、付加価値業務へ割くことができる
- Backlog AIアシスタントによるタスク作成や要約、レポート生成などにより、さらに工数を削減し、本来の業務に集中できるようになります。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

プロジェクト・タスク管理ツール

Backlog



チームのタスクを可視化し、コミュニケーションを促進

Backlogでは、タスクを「課題」として登録し、同一プロジェクトのメンバー間で共有します。
課題やコメント、ドキュメントの情報は保持され、更新時には変更履歴が記録されます。

① 課題（タスク）の登録

課題名・内容・担当者・期限・添付ファイルなどの情報を登録します。
プロジェクトに参加しているメンバーが登録・閲覧可能です。
（権限設定で登録のみ／閲覧のみなどの制御も可能です）



② 課題の更新・コメントによる情報共有

作業の進捗に応じて、課題ごとにコメントのやり取りや更新を行います。プロジェクトに参加しているメンバーであれば、権限設定されていない限りコメント・更新が可能です。



③ 課題完了後もデータ保持

課題完了後も、課題データは削除されず保持されます。
更新履歴やコメントも保存されるため、過去の対応内容や判断経緯を追跡できます。



ドキュメント

社内ルールや議事録などをまとめ、リアルタイムで同時編集できる機能です。自動保存、変更履歴の確認が可能です。



Backlog AIアシスタント

Backlogに入力された情報をもとに、課題登録や要約、レポート作成をサポートするAI機能です。

- 入力されたデータは、AIモデルの学習に利用されません。
- データの参照範囲は、ユーザー自身が参加しているプロジェクトに限られます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

プロジェクト・タスク管理ツール Backlog



機能一覧

チームのプロジェクト・タスク管理に必要な機能を オールインワンで提供

親子課題・孫課題
大きな課題にある
複数の課題も管理可能

課題ごとのコメント
タスクごとの
コミュニケーションが可能

ガントチャート
全体の進行状況を
一目で確認可能

ボード
ステータスごとのタスク量が、
カード形式で一目瞭然

Backlog AIアシスタント
タスクの起票や要約、
レポート作成をAIが支援

ファイル共有
資料の共有も
Backlog上で完結

ドキュメント
情報を一括蓄積し、
チームで共同編集・更新

バーンダウンチャート
PJ進捗をマイルストーン
ごとにグラフで表示

Git / Subversion
レビュー等が課題に
自動でコメントされる

お知らせ機能
担当者割り当てや
課題更新時に通知

モバイルアプリ
モバイルからも
タスク内容の確認が可能

IPアドレス制限
外部ネットワークからの
侵入を防止

2段階認証
高いセキュリティ性

活用ポイント

情報の一元管理

散在する情報を集約し、
必要な情報にすぐアクセス

- プロジェクト全体やタスクの状況を一元管理
- 検索機能による素早い情報アクセス

活用例
プロジェクト関連のドキュメント、会議議事録、成果物をすべてBacklog内で管理し、情報の分散を防止

業務の可視化

誰が何をしているか、
進捗状況をリアルタイムに把握

- 担当者と期限の明確化
- ステータスによる進捗の透明化

活用例
ガントチャートやボードで全体の進捗を把握し、遅延リスクを早期に特定してプロジェクト管理を効率化

AIによるタスク起票や要約

「Backlog AIアシスタント」がタスク起票や要約、レポート作成などを支援
（プレミアム・プラチナプランが対象）

- 情報把握の時間を短縮し、業務を効率化

活用例
タスク起票、会議資料の作成・要約、月報などのレポート作成、膨大なコメントの要約、メンバーのタスク量の整理

アクセスログの取得

ユーザーが、いつ、Backlog内のURLにアクセスしたかを記録可能
（プラチナプランが対象）

- 月に1回、前月のアクセスログのダウンロードリンクをメールでお届け

活用例
不審なアクセスの有無をチェック、インシデント発生時のアクセス履歴追跡

柔軟なカスタマイズ

チームや用途に合わせたカスタム設定や機能のON/OFF調整が可能

- 必要に応じて入力項目をカスタマイズ
- 通知や表示させる機能を設定できる

活用例
開発チームではGit/Subversion機能をON、営業チームでは「確度」の入力項目を追加するなど、部門別に最適化

外部サービス連携

SlackやTeamsなど外部ツールとシームレスに連携

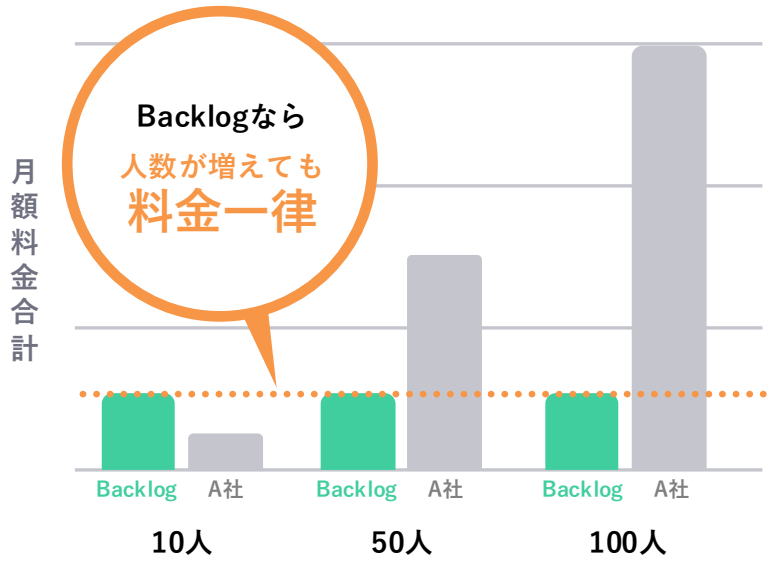
- チャットツールへの通知連携
- API連携による自動化

活用例
SlackやTeams上で課題の更新通知を受け取り、Backlogのタスクを直接参照するなど、ワークフローを効率化

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

利用人数が増えてもコストが増えない料金体系

Backlogはユーザー数ではなくスペース単位での定額制を採用しており、利用人数が増えても追加費用は発生しません。そのため、部署横断や社外ステークホルダーを含めた運用に拡大しても、コストを気にせず組織全体での業務基盤として運用できます。



料金プラン※注

いずれのプランも30日間無料でお試しいただけます

	スタータープラン※1	スタンダードプラン	オススメ プレミアムプラン	プラチナプラン
価格	¥2,700／月	¥16,000／月	¥27,000／月	¥75,000／月
ストレージ（容量）	1GB	30GB	100GB	300GB
プロジェクト数	5	100	無制限	無制限
ユーザー数	30人	無制限※5	無制限※5	無制限※5
Backlog AIアシスタント※2			✓	✓
Nulab Flowbase（無償枠）			✓	✓
Subversion / Git	✓	✓	✓	✓
ファイル共有	✓	✓	✓	✓
ガントチャート		✓（表示範囲：6ヶ月分）	✓	✓
バーンダウンチャート		✓	✓	✓
アクセス制限（IP制限）		50個まで	100個まで	無制限
課題のテンプレート		✓	✓	✓
属性のカスタマイズ			✓	✓
認証			2段階認証によるアクセス制限	2段階認証によるアクセス制限
SAML認証※3	✓	✓	✓	✓
監査ログ※4	✓	✓	✓	✓
その他				・アクセスログの提供 ・セキュリティチェックシートの提供

※1 スタータープランではガントチャート・バーンダウンチャートの自動生成ができませんのでご注意ください。
※2 Backlog AIアシスタントの無償枠を超えたクレジットを利用される場合、別途料金が発生します。詳しくはこちらをご覧ください。
※3 Nulab Passの導入（有料）で、お使いのIDプロバイダー経由でBacklogのアカウントを認証できます。
※4 Nulab Passの導入（有料）で、組織内のBacklogユーザーの操作内容を記録情報としてダウンロードできます。
※5 安定した運用を維持するため、最大10,000人までを推奨しています。
※価格はすべて税抜き表示です。

※注）2027年1月1日から料金プランが変わります。詳しくはこちらをご参照ください。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

多くの企業様に導入いただいています

TOYOTA　経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry　SEIBU Lions　よろこびがつなぐ世界へ KIRIN　東急

東洋経済新報社　西日本新聞社　MUFG 三菱UFJ銀行　FFG 一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。

TOPPAN　J!NS　Blue Forever EDWIN　地球とつながるよろこび。YAMAP　KOBE

SKY SKYMARK AIRLINES　STARFLYER　北のくらし、もっとできること KITAGAS　KDDI KDDI Web Communications

導入事例



TOYOTA　トヨタ自動車株式会社様

トヨタ生産方式の「カイゼン」とBacklogのコラボレーションで業務効率を向上。ヌーラボ公式パートナーとの連携で業務合計時間のグラフ化も実現

- 部署全体の活動と個人の業務状況をひと目で把握
- Backlogとパートナーソリューションを連携し、詳細な工数の数値化・グラフ化も実現。業務の平準化と知見の蓄積、共有を目指す

Backlogは、業務の効率化はもちろん、組織運営自体も助けてくれるツールだと感じている



経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry　経済産業省様

経済産業省が事務作業を3分の1に削減！行政手続オンライン化の一翼を担う

- メールの情報整理や検索に費やす時間が劇的に減り、事務作業の時間が3分の1まで減少
- リアルタイムでの情報共有が可能になった
- 対面の打ち合わせは必要最小限にしながらプロジェクトをスムーズに進行

Backlogというツールがそのまま会議資料に。業務効率化における大きなメリット



J!NS　株式会社ジンズ様

JINSの挑戦と共に歩んだBacklog。「10年分」のプロジェクト管理が全社のナレッジに

- 全社標準のプロジェクト管理ツールとして定着し、社外パートナーも含めたコラボレーションが効率化された
- 10年分のプロジェクトが会社のナレッジとして蓄積され、過去の作業履歴や経緯を参照できる
- チャットとBacklogを使い分ける運用ルールが浸透し、情報の整理・共有がスムーズに

10年分のタスク管理プロセスが会社のナレッジとして蓄積されていることに価値を感じている

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

稟議書フォーマット（サンプル）



以下を参考に、ツール導入担当者へ記入をご依頼いただき、ご活用ください。

稟議書

申請日		所属部署		氏名	

件名	プロジェクト・タスク管理ツールBacklogの導入
現状の課題	当社では、メールやExcelを中心とした業務運用が継続しており、案件・タスク・関連資料・コミュニケーションが複数の場所に分散しています。その結果、進捗状況や判断経緯の把握に時間を要し、確認・報告・調整に多くの工数が発生しています。 また、社内外の関係者が増える中で、個人に依存した情報管理や属人化が起こりやすく、組織全体の生産性向上や迅速な意思決定、継続的な業務改善を進めるうえで課題となっています。 今後、AI活用やDXを推進していくためにも、業務情報を一元的に蓄積・活用できる基盤の整備が必要です。
解決策	業務管理をメールやExcel中心の運用からBacklogへ移行することで、タスク・進捗・関連資料・コミュニケーションを一元管理し、関係者全員が同じ情報をリアルタイムで確認できる環境を構築します。これにより、確認や報告にかかる手間を削減し、業務の透明性向上、属人化の解消、意思決定の迅速化を図ります。 さらに、Backlogは課題管理、ドキュメント、ガントチャートなどを備えた業務基盤として活用でき、複数ツールに分散していた情報を集約できます。加えて、Backlog AIアシスタントの活用により、要約やレポート作成などの効率化を進め、将来的なAI活用・DX推進を支える基盤としても有効です。
スケジュール	○○○○年○月○日から契約・利用開始 ※1年間ごとにプラン見直しもしくは契約継続を判断
料金	月額 29,700円（税込） ※導入予定プラン：プレミアムプラン ※利用人数が増えても一定料金で運用可能
期待される効果	業務情報の一元化により、Backlog上で即時に状況を確認できるようになります。 これにより、進捗確認・報告資料作成・情報検索・業務の引き継ぎといった作業を、従来よりも短時間で対応できるようになります。 例：1人あたり1日○分の削減 × 利用人数○人 × 月間営業日数○日 × 平均人件費 ○円 ＝ 月額○○円相当の削減効果を想定 ※削減した時間を、意思決定・顧客対応・企画立案などの付加価値業務へ再配分可能
セキュリティ	・ISO/IEC 27001、ISO/IEC 27017、ISO/IEC 27018などの認証を取得 ・セキュリティ評価プラットフォーム「Assured」やセキュリティチェックシートによる導入前のセキュリティチェックが可能 ・信頼性の高いデータセンター（AWS）の使用、通信のTLS暗号化 ・24時間365日体制のサーバの監視・障害対応、データのバックアップ実施 ・障害やメンテナンスなどの情報発信 ・タスクの更新履歴やコメント履歴が記録される

Word形式でダウンロードする

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

よくある質問

お申し込みに関すること

無料トライアル開始までの流れを教えてください。

プランを選択してフォームに情報を入力すると、すぐにBacklogの30日無料トライアルが開始されます。無料トライアル中、もしくは無料トライアル終了後にプランや支払い情報を登録してご契約開始となります。なお、無料トライアル中でもお申し込みいただいたプランの全機能が使えますので安心してお使いください。

無料トライアルを行わずに、そのまま本契約することはできますか？

はい、可能です。料金プランの「すぐに契約を始める」より、本契約を行っていただけます。

見積書は発行してもらえますか？

1. 新しくスペースを契約する際のお見積もりが欲しい場合

プランと料金のページのお支払い料金シミュレーションよりお見積書をダウンロードしてください。お見積書は電子ファイル（PDFでの発行となります。郵送は承っておりません。）

2. ご利用中のプランの更新時のお見積もりが欲しい場合

次回の利用期間開始日の90日前から、契約管理者の権限をもつユーザーが組織設定の画面から見積書をダウンロード可能です。

3. ご利用中のプランを変更する際のお見積もりが欲しい場合

ご利用期間やお支払い方法、プランを変更する際のお見積書がご入用の場合、お問い合わせフォームまたはLive Chatよりご連絡ください。2営業日以内に発行の上、お送りいたします。お見積書は電子ファイル（PDF）での発行となります。郵送は承っておりません。

請求書・領収書は発行してもらえますか？

契約管理者のメールアドレス宛に送付されます。
また、契約管理者は組織設定の画面から請求書・領収書をダウンロード可能です。

請求書・領収書が発行されるタイミングは、お支払い方法によって異なります。また、初回のお支払いか更新時のお支払いかによっても異なります。

ご契約・請求に関すること

個別にNDAなどの契約書を取り交わすことはできますか？

個別のNDA、機密保持契約書、業務委託契約書、覚書などの締結は行っておりません。

対応している支払方法を教えてください。

ご利用料金のお支払いは、「銀行振込」・「クレジットカード」のいずれかがご利用いただけます。

詳しくはこちらをご確認ください。

＊ 2027年1月1日以降の新プランについては、こちらをご確認ください。

契約期間の途中でもプラン変更はできますか？

プランはいつでも変更をお申し込みいただけます。

＜アップグレード＞
プラン適用：即日、料金変更：即日、支払期日：お申し込み日が14日までなら翌月末、15日以降なら翌々月末まで

＜ダウングレード＞
プラン適用：次の利用期間の開始日、料金変更：次の利用期間の開始日、支払期日：現在のご利用期間最終日

無料トライアル中に解約することはできますか？

可能です。組織設定>組織詳細の画面にて、組織を削除してください。組織を削除するとすべてのデータが削除されるため、トライアル期間が残っていてもBacklogを利用できなくなります。

契約期間中に解約した場合、返金はありますか？

返金対応はございません。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

セキュリティ

Backlogのセキュリティ環境

信頼性の高いデータセンター（AWS）の使用、通信のTLS暗号化、24時間365日体制のサーバの監視・障害対応、データのバックアップ、障害やメンテナンスなどの最新情報のお知らせなど、万全のセキュリティ環境を提供しています。



業務履歴による統制強化

Backlogでは、タスクの更新履歴やコメント履歴が記録され、業務の経緯や意思決定の背景を可視化できます。
口頭決裁を防ぎ、責任範囲を明確化。組織として統制の取れた運用を実現し、インシデント発生時にも経緯を確認できる状態を構築します。



導入前のセキュリティチェック

セキュリティ評価プラットフォーム「Assured」やセキュリティチェックシートで導入前のセキュリティ面のチェックを行なっていただけます。お客様独自フォーマットへの記入は、有料オプションで対応しています。



「Nulab Pass」によるセキュリティ強化

「Nulab Pass」の併用で、SAML認証やアカウント管理による不正対策やセキュリティ強化。さらに監査ログによる内部監査への対応で、ガバナンスの強化を実現します。



参考リンク



見積書ダウンロード

Backlogの見積書をダウンロードいただけます

見積書をダウンロードする



個別相談会開催中

Backlogの個別相談会を随時開催しています

個別相談会を申し込む



お問い合わせ

Backlogのご不明点はお気軽にお問い合わせください

問い合わせる

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.



会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004年3月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

nulab